

2023 年 10 月 31 日

各 位

株式会社三井住友銀行

大久保歯車工業株式会社に「SDG s 推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、大久保歯車工業株式会社（代表取締役社長：大久保 利彦）に「SDG s 推進支援融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、大久保歯車工業株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

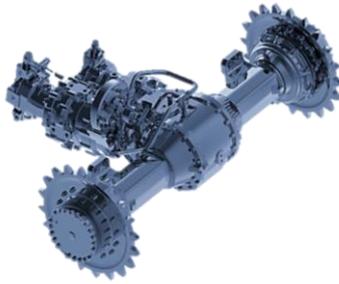
- ① 特殊車両の安全な走行を支える部品の供給、工作機械使用時や車両走行時のエネルギー効率改善への貢献

目標 3 すべての人に 健康と福祉を	3.6 2020 年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.3 2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

- ② 工場再編成プロジェクトや品質向上活動による生産性向上、資源の効率的な利用

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.2 2030 年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。

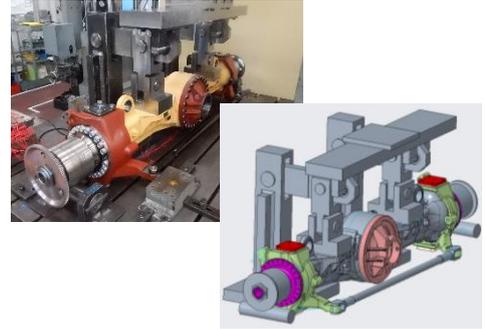
三井住友銀行では、「SDG s 推進支援融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



高速クローラ用アクスル
車速の高速化による運搬作
業の効率化及びエネルギー
効率の向上



ロボットブローチ盤
24時間稼働による生産性
向上



バーチャルテスト
バーチャルでのテストにより
現物テスト回数を減らすこと
で原材料の使用料を削減

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上